

自分たちの手で育てた「サキホコレ」を おいしく味わう

種まきから稲刈りまで・横手市



秋田県横手市の小学生と高校生が自分たちで育てた「サキホコレ」の新米を味わった。夏場の記録的猛暑に負けず育ったコメの味は格別。横手市の増田高校は増田小学校と一緒にコメ作りに取り組んでいる。2023年

は有機肥料を使った「サキホコレ」の栽培に挑戦した。4月の種まきに始まり...夏場の猛暑で難しい栽培となったが、水の管理などに気を付けながら約350キロのコメを収穫した。2023年の収穫を終え、14日は高校生がサキホコレの特徴やコメ作りについて話した。小学生：「コメ作りで工夫していることは何ですか？」高校生：「有機の肥料を使って栽培した。その分、普通のおコメより体に良いものになっている」続いて、高校生が栄養バランスを計算して考案した「おかず」と一緒に「サキホコレ」を味わった。小学生：「おいしいです。昔の人の大変さに感謝しながら作業ができた」「甘くて粘り気が強くて、好きなコメの質だったのでうれしかった」高校生：「水の管理や肥料の与え方に、ちょっと苦労したが、なんとか育って良かった」児童・生徒は収穫の喜びを感じ1粒1粒をしっかりと味わっていた。(令和5年11月14日(火)AKTライブニュース秋田より)